

やまがたの若者向け地域活動情報紙

# WA-CHA

ゆちゃ

若者向けの元気応援窓口  
若者支援プロジェクト

Vol. 1

2022年6月発行



おもしろいこと  
ずっとしなかったこと  
「今」動いた  
わたし達のこと

地域開発チーム「WATS」

特集

対談 「未来へ広がるストーリー」

一般社団法人 希望活動醸成機構 代表

行政書士佐藤祐事務所

阪野 正義 氏 × 佐藤 祐 氏

経験者に聞く！ ～地域活動はじめての一步～

TVAyamagata (在山形ベトナム人協会) 代表

笹原 智子 氏

○ 若者サポーター

○ やまがた若者スポット情報 from やまがた若者応援大使

元朝日町地域おこし協力隊の阪野正義さんは、地域の「おもしろいこと」を行う一般社団法人を立ち上げました。立ち上げをサポートした行政書士の佐藤祐さんとは、公私ともに交流が続いています。現在はお二人とも、「若者サポーター」に登録し、地域活動をしている若者の支援にも力を入れています。



一般社団法人 希望活動醸成機構  
代表 阪野 正義 氏  
朝日町を中心に「おもしろいこと」をしたい方のサポートと空き家対策事業を行う。その傍ら、高校と大学の非常勤講師を務める。

行政書士佐藤祐事務所  
佐藤 祐 氏  
行政書士として書類の作成や相続手続きなどを代行する一方、外国人支援にも取り組み、在留資格取得の補助も行っている。

## 夢や希望を持つ人と 一緒になにかをする楽しさ

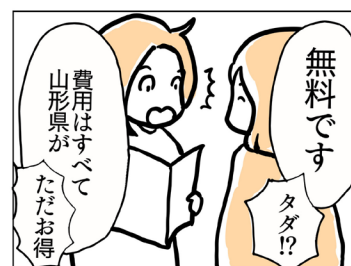
**佐藤** 阪野さんと初めて会ったのは、5年くらい前ですかね。当時「民泊をしたい」という方から相談を受けていて、初めてのことでだったので、朝日町のゲストハウス「松本亭一農舎」に話を聞きに行っただけです。そこにいたのが、運営に携わっていた阪野さんでした。それで、阪野さんにいろいろ教えてもらいました。

そのときはそれっきりで、再会したのは、阪野さんが一般社団法人を作りたいと「若者サポーター（※）」に依頼をくれて、僕がサポートをしたときです。

**阪野** 私は当時、地域おこし協力隊を卒業するタイミングだったのですが、希望活動人口を増やしたいという朝日町の方針や、おもしろいことをしたいという若者の声を聞いて、それらを後押しする仕事をしていきたいと思います。空き家対策事業も既に関わっていたので、法人という器を作ろうと思ったんです。個人でもできますけど、そうすると「阪野正義」の仕事になってしまふんですね。一般社団法人にすることで、いざれ懇ごと町出身の若者がもらってくれないかなと。（笑）。それまで、ノウハウとか信用を、法人に蓄えていくのが私の仕事だと思っただけです。

**佐藤** 法人設立はそもそも行政書士の

※「若者サポーター」…7ページ参照



© Shimba

### やまがたの若者向け地域活動情報紙



「WA-CHA」創刊しました  
これからよろしくお祈いします



私たちは、若者支援コンシェルジュとして、山形県在住または山形県に縁のある若者のみなさんが元気に地域活動ができるよう事業をおこなっています。この度、多くの人たちに素晴らしい活動や取り組みを紹介したいという想いから、本紙を発行いたしました。「WA-CHA」(わちゃ)は、「輪になってチャレンジ！みんなでわちゃわちゃしよう」という意味を込めています。年2回の発行を予定していますので、これからどうぞよろしくお祈いします。

### 若者支援コンシェルジュ

- ◆ なんでも相談窓口  
相談、問い合わせ受け付け中！  
月～金 9:00～17:00  
TEL 080-4732-3804
- ◆ テーマサロン  
テーマを決めて気軽に少人数で語り合う場です。隔月1回開催しています。
- ◆ 若者サポーター  
“ちょっとだけ先輩”の地域活動実践者があなたの相談にお応えします！
- ◆ 情報発信  
月1回のメールマガジンをはじめ、ウェブサイト「おこしあいネット」、各種SNSで情報発信中！

check!  
いろんな情報が詰まっています！ おこしあいネット  
<https://yamagata-okoshiai.net/>



若者支援コンシェルジュ事務局  
〒990-0832 山形県山形市城西町5丁目29-19 (AISOHO 株式会社内)  
TEL 080-4732-3804 (平日9～19時) FAX 023-673-0703  
令和4年度若者支援コンシェルジュ事業  
(山形県しあわせ子育て応援部女性・若者活躍推進課)



今号の表紙  
地域開発チーム「WATS」  
高校生地域開発チームWATSは、新庄市南本町商店街を中心に活動しています。新庄市は二〇四〇年には人口が2万人を下回ると予想されています。私たちは大好きな新庄市を中心とした最上地域を、映像と音楽でたくさんの方に記憶してもらい、未来に向かって活動していきます。

写真撮影：フクダマコト





TVAyamagata  
(在山形ベトナム人協会)  
代表  
笹原 智子 さん



在山形ベトナム人協会は令和二年9月2日に設立し、今年で二年目を迎えます。これまで、山形県内に住む外国人を対象に、定期的な日本語教室や、山形に慣れ親しんでもらうための文化体験イベントなどを行ってきました。代表の笹原智子さんは仕事と家庭に加えて、協会の活動を行っています。三足の草鞋で活躍する笹原さんに、団体設立までのステップを伺いました。

はじめるための5ステップ

Step1 社会のために出来ることを探して

40歳という節目を迎えて、私が社会にできることは何だろうと探すようになりました。ある時、外国人労働者問題をメディアで見て、山形にもベトナムの方が多く入っていることを知ったんです。そこから関心を持ち始めて、元々国際交流が好きだったこともあり、支援活動をしたくなりました。

Step3 相手を知ろう

私はベトナムの方の知り合いがおり、日本で働く外国人労働者の実態が知らなかったため、まずはベトナムの方を知ろう、友達を増やしていこうと思いました。いろんなところへ出向き、出会った技能実習生からリアルな話を聞くことができました。

Step5 背中を押されて

変わらない情勢の中で立ち上げに踏み切れたのは、仙台の団体の代表の方からの後押しが大きかったです。精一杯手伝うからやりましょう、という熱い想いが支えになりました。ベトナムの独立記念日である9月2日に設立、キックオフイベントを行いました。イベントにはベトナムの方や知人など、20名余りが参加してくれて、無事スタートすることができました。

Step2 小さなことからやってみよう

やりたい事が見つかって、一歩踏み出せないこともあると思います。私の場合は、今を逃したらチャンスはないと思い、まずは小さなことから動き始めました。仙台に私が理想とする団体を見つけて、見学に行っただけです。代表と話をして、応援してもらって、「自分は一人じゃない」ということに気づきました。

Step4 メンバーを集めよう

もともと地域貢献がしたいという思いから、子ども食堂のボランティアに参加して、その代表の方に相談をしました。すると、協力するよと言ってもらえたんです。ボランティア活動をしている人たちだからこそ、共感してくれたのだと思います。そうして仲間たちと相談するようになりました。

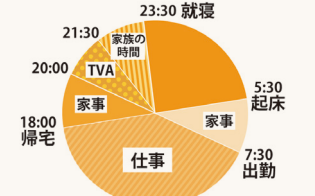
コロナ禍準備期間と考え、少しずつ動き出す

若者サポーター 立ち上げに関して相談。アドバイスを受ける。

Point!

活動を続ける上で欠かせないのが、家族の理解。笹原さんは社会人と高校生の2人のお子さんと夫、そして愛犬との4人+1匹家族。毎朝全員分のお弁当を作っています。家事と仕事だけでなく、活動も入ってくるとなれば、家族の協力も必須です。笹原さんは家族との時間も大切に、時折一緒に参加してもらうことで、家族の協力を得ました。

笹原さんの一日のスケジュール (平日)



メッセージ

何かを始めたいとき、うまくいくことを前提にせず、まずは小さいこと、自分のできることからやってみようと思ってもらいたいです。それが続かなかつたとしても、それはあくまで続かなかつただけで、ダメということではないし、やってみることが大事だと思います。それから、山形にいる外国人労働者に関心を持っていただけなら嬉しいです。



★日本語教室のボランティアを募集しています！興味のある方はお声がけください。

#知りたいことがある #相談したいことがある

無料

わかもの 若者サポーター!



そんなときこそ

ご希望に応じて、みなさまのところへ「相談」または「お手伝い」としてお伺いします。1回2時間、3回まで利用可能です。  
相談：活動の悩みや困りごとへのアドバイス  
お手伝い：作業のサポート、レクチャー

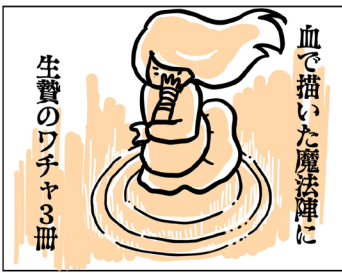
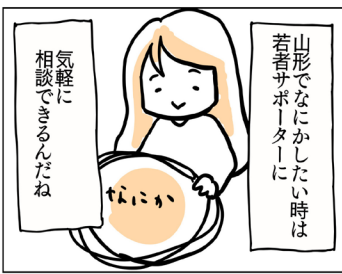


利用者の声 (抜粋)

なかなか事業の内容を話せる人が周囲にいない中で、まとまりづらかった相談内容でも、要点と落としどころを整理して伝えてくださる方だったので、事業として大切にしたいと考えている部分を再確認できた。

利用した方がいいです。聞き上手なサポーターさんが自身の経験談を交えて話をしてくださるので、頭の中のモヤモヤがなくなっていくと思います。自分はまだ利用します。

少しでも起業に興味があれば先ゆく方に聞くのが一番の近道だと思います。検討中の方でも知識として知っておけば行動する時の安心材料になると思います。



若者サポーターのご利用について

■利用対象

- ・山形県内で地域を元気にするための活動をしている(これから始めようとする)高校生〜40歳位の団体または個人
- ・山形県内へ移住を検討している40歳位までの個人
- ・山形県内の教育機関(サポーター受益者が高校生〜40歳位であること)

■実施期間

令和5年3月31日まで (受付終了は3月10日)

■お申し込み方法

※予定数になり次第終了になります。上記QRコードからお申し込みください。

語らいにおいでよ!

やまがた若者スポット情報

from やまがた若者応援大使

わくわくを創造し、世界をたのしむ

## GLAMPiC

山形県山形市新山 514-1

大自然に囲まれた GLAMPiC で体験できるのは、『わくわく』。カフェでは、ハンモックチェアなど店内でピクニック感覚を楽しめ、グランピングではドラム缶風呂などの自然体験、ゲストハウスでは木の温もりを感じながらロジのようなベッドで一晩過ごせます。



人と人の結びつきのきっかけになるような場所

## カフェレストラン With 優

山形県米沢市赤芝町字川添 1884

窯焼きピザと生パスタがメインメニューのフリースクール生徒によるカフェレストランです。生徒が地域と繋がれる場でもあり、敷居の低い相談窓口としても機能しています。不登校や引きこもり等の若者を地域の方を巻き込み、支えていく事業に挑戦しています。



つながり、新しいアイデアが生まれる

## SHARE HOUSE MYA

山形県酒田市飛鳥字勝浦乙 142

「離島と本土を繋げたい!」という思いから生まれた飛鳥にあるシェアハウスです。MYA の名は、島南東部が繁殖地として知られているウミネコの鳴き声からつけました。飛鳥での滞在で使用できる他、様々な立場の方々が交流できる場づくりを目指しています。



《編集後記》

挑戦することは学ぶことだと感じた冊子制作でした。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

(かいな)

私が地域活動を始めたのは20代の頃でした。知り合いも増えて毎日楽しくなったのでおすすめです。

(かいやん)

地域のゆるさと危うさと面白さと。肌で感じるのがたのしい日々。BQとDIYで感性磨き中。

(びっか)

山形で生まれ育った私。若い頃思い描いた人生とは違えども、イラストを描き時にビールを嗜みながら暮らしています。

(Shimba)

【制作・発行】

若者支援コンシェルジュ事務局

AISOHO株式会社

代表取締役 海谷美樹

〒990-0832

山形県山形市城西町五丁目29-19

TEL 080-4732-3804

FAX 023-673-0703

※若者支援コンシェルジュ事業はAISOHO株式会社が山形県より委託を受けて運営しています。

【委託元】

山形県しあわせ子育て応援部女性・若者活躍推進課